

主な出来事

【内政】

- マラウイ、難民への動き
- 新たな難民取締り、200人を摘発
- 給与の代償、政策の遅れ

【外交】

- マラウイ国民41人、スーダンから帰国
- ンゴマ国土安全保障大臣のロシア訪問
- 米国、政府の難民政策を批判

【経済】

- 燃料を待つ長蛇の行列、再発
- クワチャ、依然失墜
- タバコ収益・価格の改善
- 一人当たりGDP、496.14米ドル
- マラウイの輸送コスト
- 食品価格上昇、インフレ率28.8%
- チャクウェラ大統領、IMFプログラムを楽観視
- AfDB、2023年マラウイの成長率を2%と予想
- マラウイ、燃料に7億3千万米ドルが必要
- 通貨切下げから一年、外貨の不均衡拡大

【開発協力】

- サイクロン・フレディ、寄付金は27億クワチャに
- ドイツ、85億クワチャのサイクロン対策

## 【内政】

### ・マラウイ、難民への動き

マラウイ政府は、ドーワ県のザレカ難民キャンプの外に居住する難民をキャンプに強制送還するため法執行を断行し、360人を拘束した。カラヤ・マラウイ警察報道官によると、拘束された人々はマウラ刑務所に連行され、在留資格を確認するための手続きが取られる。ボサ国土安全保障省報道官は、「約8,000人の難民がキャンプ外で生活しており、強制送還される前に自主的に移動するべきである。」と述べた。(18日付ネーション紙)

### ・新たな難民取締り、200人を摘発

ザレカ難民キャンプ外に居住する難民や亡命希望者に対して、当局は4月15日までにキャンプに戻るよう指示していたが、その期限を過ぎたことから、5月25日、マラウイ警察及びその他機関は、不法移民や難民の取締まりを、北部、東部、南部地域に拡大し、約200人の外国人を拘束した。カラヤ・マラウイ警察報道官は取材に答え、「この作戦は、すべての亡命希望者と難民をザレカ難民キャンプに送還するまで有効である。」と述べた。(25日ネーション紙)

### ・給与の代償、政策の遅れ

同じ等級の公務員の報酬格差が拡大し、その差が100万クワチャを超える場合もあるが、マラウイ政府は是正に消極的な姿勢を示している。2023/24年度、最高のA級では、内閣官房長官の月給は440万クワチャ(約4,400米ドル)で、最高裁長官の月給より約40万クワチャ高くなっている。B級では、国家情報局長官が270万クワチャ、警察庁長官が250万クワチャ、大統領官邸首席補佐官が260万クワチャとなっている。国会事務総長は、各省次官と同様C級であるが、同総長は月450万クワチャを受け取っており、これは裁判所事務官が同じ等級で受け取る額よりも約170万クワチャ多い。(25日付ネーション紙)

## 【外交】

### ・マラウイ国民41人、スーダンから帰国

内戦が続くスーダンから脱出したマラウイ国民82人のうち、最初の41人が、12日、カムズ国際空港に到着する。サンデ外務次官によると、マラウイ政府は、11日、4月22日にスーダンの首都ハルツームを脱出したマラウイ人を避難させるため、マラウイ国防軍(MDF)の航空機をエチオピアに派遣した。MDFの航空機はエチオピアのアジスアベバとリロングウェの間を2往復する予定である。82人のうち、71名が男性、11名が女性で、うち80人は学生で、ザカート基金の奨学金でハルツーム国際大学に留学していた。(12日付ネーション紙)

### ・ンゴマ国土安全保障大臣のロシア訪問

ンゴマ国土安全保障大臣は、不法移民と安全保障に関するハイレベルの代表団を率いてロ

シアを訪問した。同会合は、ンゴマ大臣がマラウイ警察と入国管理局を率いてザレカ難民キャンプへの徹底的な難民強制送還が実施されている中で開催された。同会合は、5月23日から25日までの予定で、世界中からのリーダーを集め、国際情勢の一般的な傾向や食料安全保障など、様々なトピックについて議論される。ンゴマ大臣は、特に国家安全保障に脅威を与える不法移民の問題に取り組むことによって治安を強化するマラウイにとって重要な会議であることを強調した。またンゴマ大臣は、この会合はサイクロン・フレディの影響を受けた人々のため、肥料やその他の援助のように、支援を呼びかける機会となると述べた。(25日付、ニアサ・タイムス・オンライン)

#### ・米国、政府の難民政策を批判

米国は、マラウイ政府による難民及び亡命希望者をザレカ難民キャンプに強制送還する動きを非難し、27日、ヤング米大使は、「我々は我々自身を愛するように隣人を愛さねばならない。ルワンダ、ブルンジその他の国民は、人生に多くの苦難を抱えてこの地に到達した。南アフリカ共和国に渡航した数千のマラウイ国民が強制送還されるようなことがあれば、マラウイにとって喜ばしいだろうか。」と述べた。(28日付サンデー・ネーション紙)

### 【経済】

#### ・燃料を待つ長蛇の行列、再発

5月1日のメーデーを、運転手たちは、2週間にわたって供給が滞っているガソリンを求めて、あちこちのガソリン・スタンドを徘徊して過ごした。マラウイ・エネルギー規制庁(Mera)によると、燃料不足は、ダルエスサラーム及びベイラからの物流上の問題によるものである。ここ数日、燃料、特にガソリンが各地で供給不足となり、ガソリン・スタンドの行列は日増しに長くなっている。(2日付タイムズ紙)

#### ・クワチャ、依然失墜

クワチャは、外貨不足による圧力が強まる中、米ドルなど主要貿易相手国に対して価値が下がり続けている。マラウイ中央銀行(RBM)の統計によると、2023年第1四半期、クワチャは米ドルに対して約4.5%下落し、平均で1米ドル1,491.98クワチャとなったが、RBMは、対米ドル電信送金レート of 安定を背景に、クワチャが好調であると主張している。対米ドル電信送金レートは比較的安定しており、2023年第1四半期は1米ドルあたり1,033.80クワチャであった。(3日付タイムズ紙)

#### ・タバコ収益・価格の改善

タバコ業界関係者は、4週間前に市場がオープンして以来、収益・価格双方が改善しており、今年は好条件が続くと楽観的な見方を示している。4週間で、マラウイは2,030キロのタバコを販売し、4,290万ドルの収益を得ている。昨年同期の売上げが160キロ、280万米ドルであったことと比較すると、その差は歴然としている。(10日付タイムズ紙)

#### ・一人当たりGDP、496.14米ドル

ドイツのスタティスタ社によると、2023年、一人当たりGDPの推定値が最も低い4か国にマラウイが入っていることがわかった。マラウイの一人当たりGDPは496.14米ドルで、マラウイより低いのは、南スーダン（467.07米ドル）、シエラレオネ（415.09米ドル）、ブルンジ（249.22米ドル）と、戦争で荒廃した国々だけである。過去3年間、マラウイの経済成長率は年率2%以下で、状況は悪化している。（16日付タイムズ紙）

#### ・マラウイの輸送コスト

世界銀行は、マラウイをはじめとするサブサハラアフリカ内陸の途上国が直面するコストは、競争上の不利につながると指摘した。中国からモザンビークのベイラ港までのコンテナ輸送費は2千米ドルだが、同じコンテナをベイラ港から500km離れた内陸部のマラウイまで輸送するには5千米ドルを要することから、競争力を損ねている。（18日付ネーション紙）

#### ・食品価格上昇、インフレ率28.8%

国家統計局（NSO）によると、2023年4月、マラウイのインフレ率は、食品価格の継続的な上昇により、10年ぶりの高水準となる28.8%に達した。NSOによると、財・サービス価格は、今年3月の27%から1.8%ポイント上昇した。（22日付ネーション紙）

#### ・チャクウェラ大統領、IMFプログラムを楽観視

チャクウェラ大統領は、20日、マラウイの拡大信用ファシリティ（ECF）供与に向けた第一回審査を行うためにマラウイを訪問中の国際通貨基金（IMF）ミッションと会談し、マラウイが今年中にECFを獲得できることを期待していると述べた。カスンダ大統領報道官によると、IMFはチャクウェラ大統領に第一回審査について説明し、6月に第二回審査を行い、その結果をIMF理事会に提出して審議するとのこと。IMFミッションは、特にアフリカ輸銀と中国政府に対する返済計画について働きかけるよう助言した。（22日付タイムズ紙）

#### ・AfDB、2023年マラウイの成長率を2%と予想

アフリカ開発銀行（AfDB）は、2023年のマラウイの経済成長率が2%まで膨らむと予測している。これは、サイクロン・フレディの影響を受けてRBMが予測した1.7%よりも0.3%高いものとなっている。AfDBは、「アフリカ経済見通し」の中で、農業、観光、輸出の回復と海外直接投資の増加により、2024年にはマラウイの経済成長率は3.5%まで回復すると予測している。（26日付タイムズ紙）

### ・マラウイ、燃料に7億3千万米ドルが必要

マラウイ中央銀行（RBM）のリンジェ金融市場担当部長は、25日、国会天然資源・気候変動委員会で、マラウイの外貨状況は依然として不安定であると述べた。委員会の場で、国営石油公社（NOCMA）のルーベン運営部長は、今後12か月間の燃料を輸入するために4億6千万米ドルを必要としていると述べ、PIL（Petroleum Importers Limited）社も同様に2億7千万米ドルを必要としている。（26日付タイムズ紙）

### ・通貨切下げから一年、外貨の不均衡拡大

RBMが25%の通貨切下げを発表してから1年が経過するが、外国為替市場における銀行レートと公式レートの差は49.61%まで拡大している。クワチャは、取引銀行では1米ドル1,550クワチャだが、RBMの公表している電子送金レートでは1米ドル1,036クワチャである。両替商の中には、1米ドル1,600クワチャで取引しているところもある。市場アナリストは、「外貨不足が真の問題であり、それがクワチャ安を進めている。」と述べており、RBMは、昨年5月7日、外貨不足を収束させるために通貨を切下げたが、外貨不足は現在も続いている。（30日付ネーション紙）

## 【開発協力】

### ・サイクロン・フレディ、寄付金は27億クワチャに

災害管理局（DODMA）によると、サイクロン・フレディ対応のための寄付金は27億クワチャ（約270万米ドル）に達し、18億クワチャが様々な支援活動に使われた。DODMAのカレンバ局長は、4日の国会予算・財務委員会で、「同局は9億クワチャの残高を被災者向けの食料調達に宛てている。3月に行われた評価では、3月から6月までの3か月間の復旧支援のために1,478億クワチャ（約1.5億米ドル）が必要であると予測されたが、政府やパートナー機関を通じて動員されたのは373億クワチャに過ぎなかった。1,106億クワチャが不足しているが、この不足は世界銀行とEUが約束している支援で賄うことができるはずだ。」と述べた。サイクロン・フレディでは、676名が死亡、60万人以上が家屋を追われた。（5日付ネーション紙）

### ・ドイツ、85億クワチャのサイクロン対策

30日、ドイツはマラウイ政府のサイクロン・フレディ対策を支援するため、世界食糧計画（WFP）に700万ユーロの支援を行うと発表した。駐マラウイ独大使館のグマート臨時代理大使は、「この支援を通じて、バラカ、チクワワ、ンサンジェ、パロンベの最も被害の大きかった地域の零細農家75,000人を対象に30米ドルを支給し、食料の購入、災害被害からの復旧、将来の衝撃に備えることが可能になる。」と述べた。（31日付ネーション紙）